

平成26年度 見附市図工・美術部 活動報告

部長 草野 靖子

1 研究主題

自分の思いを豊かに表現する子どもの育成

2 研究の概要

(1) 図工・美術部研修会

- ・実施日 平成26年8月21日(木)
- ・会場 見附市立見附中学校
- ・講師 新潟大学教授 柳沼 宏寿 様
- ・内容 講演「子どもの絵の見方と指導」

(2) 見附市学童美術・きらきらアート展

- ・実施日 平成26年12月13日(土)～15日(月)
- ・会場 ネーブルみつけ
- ・対象 見附市内の小学校・中学校・特別支援学校児童・生徒
- ・展示 平面作品, 立体作品

3 研究の実際(図工・美術部研修会)

はじめに、中越美術展の参考作品を使い、「絵の見方」の研修を行った。部員がもし審査員だったらどの作品を選ぶか、また、なぜその作品を選んだのかを話し合った。それぞれの絵の良さを話し合うことで、絵を見る様々な視点が出てきた。さらに、子どもたちの絵を読み取るうちに、最初は見えてこなかった子どもたちの思いを感じ、違った見方をすることができた。絵を審査するためには、「子どもたちの絵を読み解くこと」、「子どもたちの思いを読み取ること」が必要だと感じた。



次に、「描画における子どもの発達段階」「描画指導の理念の変遷」「絵の始まり」「実際の授業」について講師先生からご講義いただいた。授業においては、①児童の実態に応じた題材を設定すること、②イメージを想起させるしかけを工夫すること、③共感的支援をすること、についてご指導いただいた。

4 成果と課題

- ・子どもたちの絵を読み取る視点「子どもたちの思いを読み取る」「発達段階にふさわしい表現」を考えたことは、日頃の指導を振り返る視点となった。また、「実際の授業」についてご指導いただいたことで、今後の子どもたちへの指導に生かすことができた。
- ・絵を描くことが大好きな子どもたちがいる一方で、表現に自信のない子も増えてきているように感ずる。描画に対する前向きな構えを育成するためにも、子どもたちに寄り添い、共感的な支援をしていく教師の姿勢が必要である。